

## 目次

★ お願い	P1
★ 発生動向総覧	P2～4
★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況	P5
★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント	P5～6
★ 全数把握感染症集計表	P7
★ 定点把握感染症集計表	P8～12
★ 定点把握感染症推移グラフ	P13～17
★ 定点把握感染症集計表(月報)	P18～21
★ 定点把握感染症推移グラフ(月報)	P22～23
★ インフルエンザの流行状況、注意喚起	P24～26
★ 新型コロナウイルス感染症の状況	P27～

インフルエンザ警報→流行レベルに！(2024年第8週(2/19~2/25)~)  
新型コロナウイルス感染症拡大注意報発令中！

**県内感染拡大注意報発令です**  
**もう少しの間4つのお願い**

1. **医療機関や高齢者施設**の受診や訪問時は、**できるだけマスク着用を！**
2. **体調に少しでも違和感(特にのど、鼻)**があれば、人と会うときに**マスク着用を！**
3. 急に**症状(咳・熱・のど痛)**が出た時は、**学校や仕事を休んで療養を！**
4. 人が集まる所では、**換気と咳エチケット(咳くしゃみが出る時は口鼻をおおう)**を！

**県内医療ひっ迫注意レベルです**  
**医療への負担を減らす2つのお願い**

1. **熱,咳,のど痛等の症状が軽く,持病のない若い方(重症化リスクのない方)**は、**休日夜間の救急外来の受診を避けて,平日受診か,市販薬で自宅療養を！**
2. **会社・学校等は,今は医療機関へコロナやインフルの証明書を求めないで！**

**インフルエンザワクチン接種**

- ・対象者は**生後6か月以上**です
- ・現在流行の**A型2種・B型**を含む**計4種のインフルエンザ**に対応
- ・インフルエンザによる**重症化**や**入院リスクを下げ**るため、**1回**かかった人も**接種検討を！**



# 発生動向総覧

## ◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 結核(中部(2)西部(1)浜松市(2))
- 3類感染症 報告なし
- 4類感染症 報告なし
- 5類感染症 急性脳炎(静岡市(1)浜松市(1))、  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症(静岡市(1))、  
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(浜松市(1))  
侵襲性インフルエンザ菌感染症(富士(1))  
梅毒(富士(1)西部(2)浜松市(2))

## ◆定点把握の対象となる5類感染症(週報対象のもの)

環境衛生科学研究所

感染症情報センター

### 感染症発生動向調査

令和6年第8週(2/19~2/25)の動向

### 警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未達で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合は、警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

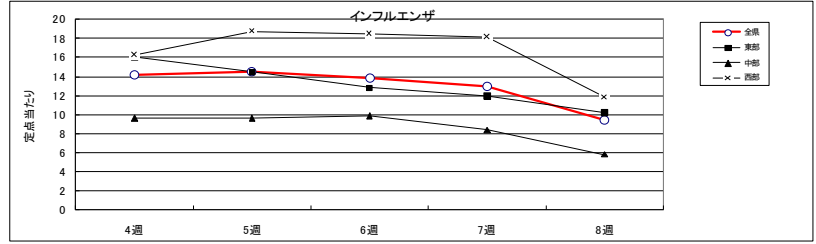
疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

### 【今週のコメント】

第8週(2/19~2/25)の感染症発生動向調査では、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数が9.4人となり、前週の12.96人から減少しました。第47週(11/20~11/26)から続いていた警報レベルは終息基準値を下回りました。

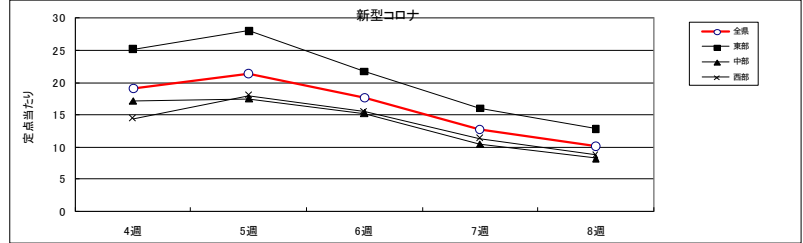
**【インフルエンザ】**

全県で罹患数1,307、定点当たり9.4の患者発生があり、前週の12.96から減少した。定点当たりは、東部地区で10.18、中部地区で5.79、西部地区で11.81の発生があった。全県の警報レベルは終息基準値を下回った。



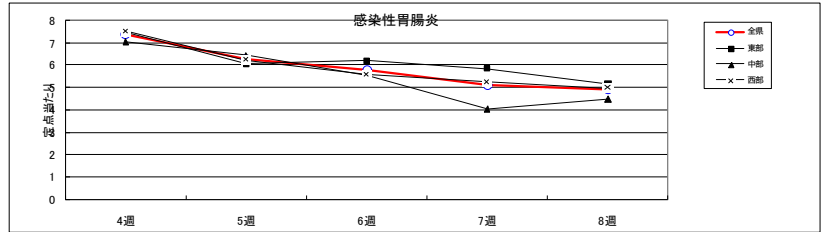
**【新型コロナ】**

全県で罹患数1,402、定点当たり10.09の患者発生があり、前週の12.73から減少した。定点当たり東部地区で12.86、中部地区で8.26、西部地区で8.77の患者が発生した。



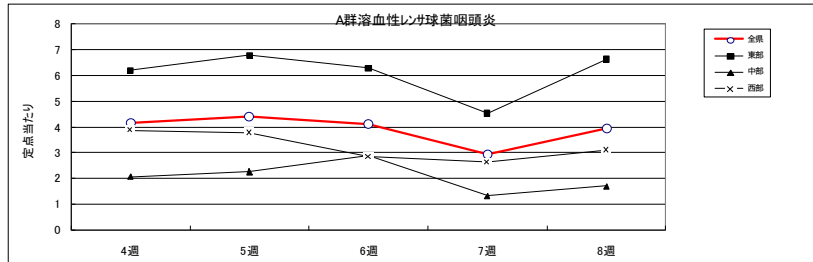
**【感染性胃腸炎】**

全県で罹患数435、定点当たり4.89の患者発生があり、前週の5.09から減少した。定点当たり東部地区で5.16、中部地区で4.48、西部地区で4.97の患者が発生した。



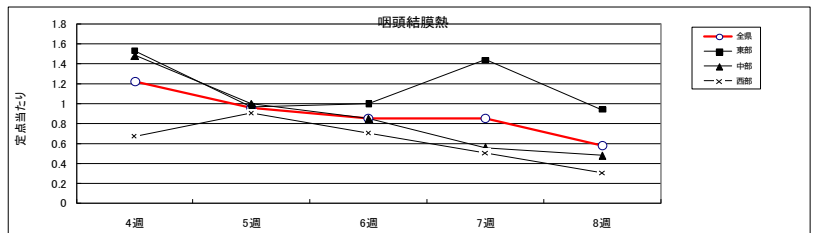
**【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】**

全県で罹患数351、定点当たり3.94の患者発生があり、前週の2.92から増加した。定点当たり東部地区で6.63、中部地区で1.7、西部地区で3.1の患者が発生した。



**【咽頭結膜熱】**

全県で罹患数52、定点当たり0.58の患者発生があり、前週の0.85から減少した。定点当たり東部地区で0.94、中部地区で0.48、西部地区で0.3の患者が発生した。

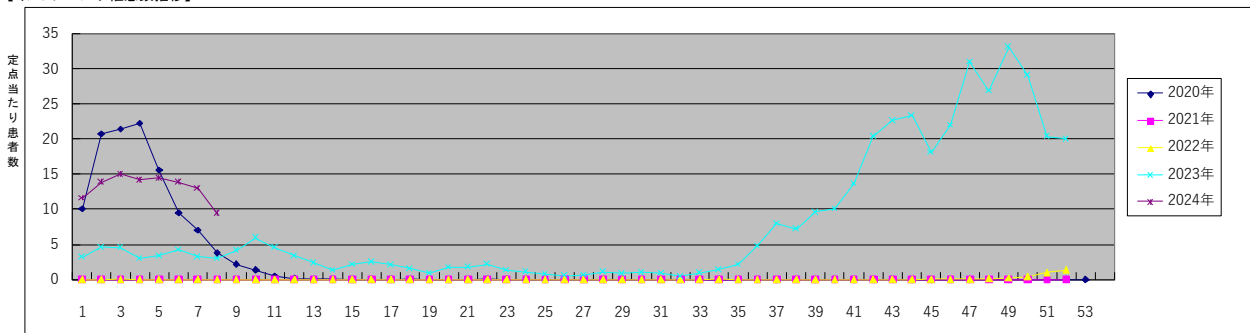


・麻疹、風疹は患者発生なし。

・全国のインフルエンザの発生は16.76で前週の20.64から減少した。警報レベルの保健所を有する都道府県は41で前週と変わらず、注意報レベルの保健所を有する都道府県は44から41に減少した。

・静岡県において第8週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1) 新型コロナ (10.09)、2)インフルエンザ (9.4)、3)感染性胃腸炎 (4.89)、4)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (3.94)、5)咽頭結膜熱 (0.58)、6)流行性角結膜炎(0.18)であった。

**【インフルエンザ罹患数推移】**



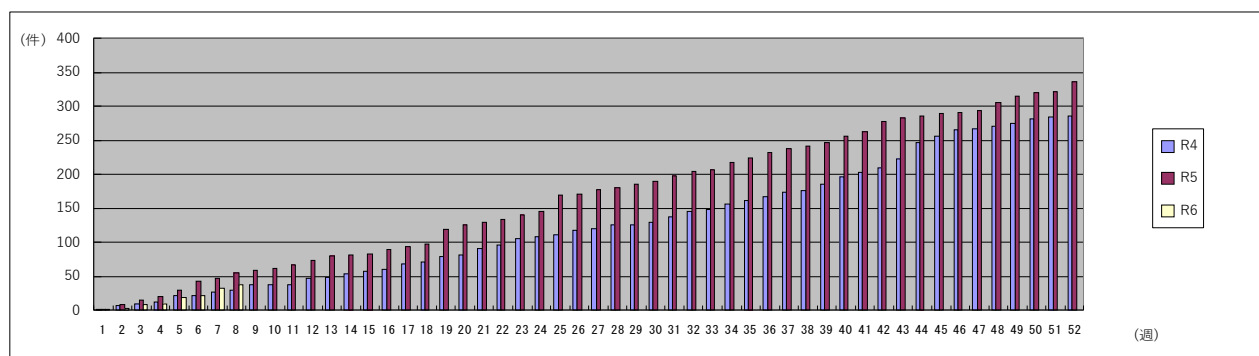
【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2023/2024シーズン)】

(令和5年第40週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R5年 第40週～第45週	静岡県	21	36		
	静岡市	5	8		
	浜松市	1	10		
R5年 第46週～第50週	静岡県	9	22		1
	静岡市	1	7		
	浜松市	10	28		5
R5年 第51週～第52週	静岡県	4	12		1
	静岡市	2	2		1
	浜松市	2	13		1
R6年 第1週	静岡県	2	1		
	静岡市				
	浜松市				
R6年 第2週	静岡県	2	5		2
	静岡市	1	1		
	浜松市	1	6		1
R6年 第3週	静岡県	4	3		
	静岡市	2	5		
	浜松市	1	4		
R6年 第4週	静岡県	4	3		1
	静岡市	8	5		1
	浜松市	3	4		
R6年 第5週	静岡県	2	2		1
	静岡市		3		4
	浜松市	2	1		1
R6年 第6週	静岡県	5	1		2
	静岡市	1	1		
	浜松市	1	2		1
R6年 第7週	静岡県		2		2
	静岡市				7
	浜松市				6
R6年 第8週	静岡県				2
	静岡市				
	浜松市	1			7
合 計		95	187	0	47

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第8週は前年同期比0.7倍であった。



## 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

- 警 報 インフルエンザ(東部、御殿場、西部)  
咽頭結膜熱(東部)  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(御殿場)
- 注意報 インフルエンザ(浜松市)



### 指定届出機関からの特記事項欄コメント

- 下田メディカルセンター(下田市)「インフルエンザB型 4名」
- かわづクリニック(河津町)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 1名」
- 高野医院(伊東市)「インフルエンザB型 9名、新型コロナ 21名」
- むらかみ小児科クリニック(伊東市)「インフルエンザA型 2名、インフルエンザB型 9名(うち1名A型とB型同時感染)、新型コロナ 1名(中国から帰国翌朝に発熱)」
- よぞ小児科医院(沼津市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 5名」
- 光ヶ丘小児科(三島市)「インフルエンザA型 3名、インフルエンザB型 30名、新型コロナ 36名、ノロ 3名、咽頭アデノ 10名」
- クボタ小児科(三島市)「インフルエンザA型 5名、インフルエンザB型 8名」
- 白十字小児科医院(沼津市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 21名」
- 函南平出クリニック(函南町)「新型コロナ 9名、インフルエンザA型 4名、インフルエンザB型 59名、流行性耳下腺炎 3名、ノロ 2名、溶連菌感染症 23名」
- なかがわ医院(小山町)「インフルエンザB型 2名」
- 安田内科小児科医院(御殿場市)「ノロ 1歳男児 2名、インフルエンザA型 17名、インフルエンザB型 17名、新型コロナ 62名」
- 富士病院(御殿場市)「インフルエンザA型 8名、インフルエンザB型 7名」
- たうち小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 12名、インフルエンザB型 29名、新型コロナ 44名、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 101名」
- お八幡医院(御殿場市)「インフルエンザA型 3名、インフルエンザB型 4名」
- 小川小児科内科医院(富士市)「インフルエンザA型 3名、インフルエンザB型 30名、新型コロナ 34名」
- 木村内科医院(富士市)「新型コロナ 3名」
- 共立蒲原総合病院・内科(富士市)「インフルエンザ 1名、新型コロナ 23名」
- 共立蒲原総合病院・小児科(富士市)「インフルエンザ 2名、新型コロナ 1名」
- 幸治小児科医院(富士市)「インフルエンザ 12名、新型コロナ 8名」
- 聖隷富士病院(富士市)「インフルエンザA型 1名、新型コロナ 14名」
- 瀬尾小児科内科医院(富士市)「インフルエンザ 14名、新型コロナ 17名」
- 田子浦クリニック(富士市)「インフルエンザ 23名、新型コロナ 32名」
- 谷口小児科医院(富士宮市)「インフルエンザ 23名、新型コロナ 4名」
- 永松医院(富士宮市)「インフルエンザA型 1名、新型コロナ 8名」
- 南陽堂内科循環器科クリニック(富士宮市)「インフルエンザ 4名、新型コロナ 5名」
- 平野医院(富士市)「新型コロナ 1名」

富士市立中央病院(富士市)「インフルエンザ 1名、新型コロナ 16名」  
 富士宮市立病院(富士宮市)「インフルエンザ 4名」  
 三浦医院(富士宮市)「インフルエンザ 17名、新型コロナ 12名」  
 ふたばクリニック(磐田市)「インフルエンザA型2名 インフルエンザB型 13名」  
 伊藤医院(湖西市)「インフルエンザB型 6名」  
 きもと小児科(湖西市)「インフルエンザA型5名 インフルエンザB型 35名」  
 クリニックパパ(浜松市)「ヒトメタニューモ 1名、インフルエンザB型 27名」  
 今西こどもクリニック(浜松市)「インフルエンザA型 2名、インフルエンザB型 52名」  
 げんきこどもクリニック(浜松市)「インフルエンザB型 10名」  
 いぬかい小児科(浜松市)「インフルエンザA型 3名、インフルエンザB型 9名」  
 幸田子供クリニック(浜松市)「ヒトメタニューモ 2名、インフルエンザB型 19名」  
 天童こども医院(浜松市)「インフルエンザA型 5名、インフルエンザB型 21名」  
 小児科竹内医院(浜松市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 19名」  
 金指こどもクリニック(浜松市)「インフルエンザB型 7名」  
 縣医院(浜松市)「インフルエンザB型 11名」  
 おおば小児科(浜松市)「インフルエンザB型 27名」  
 総合病院浜松赤十字病院(内科)(浜松市)「インフルエンザB型 1名」  
 くまがいくリニック(浜松市)「インフルエンザA型 1名」  
 大竹内科医院(浜松市)「インフルエンザB型 8名」  
 鈴木診療院(浜松市)「インフルエンザA型 1名」  
 みかえ内科クリニック(浜松市)「インフルエンザB型 2名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザ型別状況 (2023-2024 シーズン累計)

週	インフルエンザA型		インフルエンザB型	
	報告数	割合	報告数	割合
第1週	429名	91.1%	42名	8.9%
第2週	614名	86.6%	95名	13.4%
第3週	714名	83.4%	142名	16.6%
第4週	569名	71.9%	222名	28.1%
第5週	435名	50.1%	434名	49.9%
第6週	273名	33.7%	538名	66.3%
第7週	135名	17.7%	626名	82.3%
第8週	82名	14.0%	502名	86.0%
合計	30,866名	90.8%	3,140名	9.2%

静岡県感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

(「静岡県 感染症情報センター」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県							全国					
		3週	4週	5週	6週	7週	今週	年累計	5週	6週	7週	今週	年累計	
エボラ出血熱														
クリミア・コンゴ出血熱														
痘そう														
南米出血熱														
ペスト														
マールブルグ病														
ラッサ熱														
急性灰白髄炎														
結核		7	10	8	10	7	5	66	238	217	187	190	1,882	
ジフテリア														
重症急性呼吸器症候群(SARS)														
中東呼吸器症候群(MERS)														
鳥インフルエンザH5N1														
鳥インフルエンザH7N9														
コレラ														
細菌性赤痢										1	1		7	
腸管出血性大腸菌感染症			1	1				4	13	15	26	12	162	
腸チフス												1	1	
パラチフス													1	
E型肝炎									12	13	8	7	85	
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
A型肝炎									2	1	2	1	12	
エキノコックス症														
エムポックス									3			1	8	
糞熱														
オウム病														
オムスク出血熱														
回帰熱													1	
キャサスル森林病														
Q熱												6	6	
狂犬病														
コクシジオイデス症														
ジカウイルス感染症														
重症熱性血小板減少症候群									1				3	
腎症候性出血熱														
西部ウマ脳炎														
ダニ媒介脳炎														
炭疽														
チクングニア熱														
つつが虫病								1	3	2	1	1	53	
デング熱									4	1	2	3	22	
東部ウマ脳炎														
鳥インフルエンザ														
ニバウイルス感染症														
日本紅斑熱													2	
日本脳炎									1				1	
ハンタウイルス肺症候群														
Bウイルス病														
鼻疽														
ブルセラ症														
ペネズエラウマ脳炎														
ヘンドラウイルス感染症														
発しんチフス														
ポツリヌス症														
マラリア										1			4	
野兔病														
ライム病														
リッサウイルス感染症														
リフトバレー熱														
類鼻疽														
レジオネラ症			1	1				7	33	33	23	27	256	
レプトスピラ症													1	
ロッキー山紅斑熱														
アメーバ赤痢		1						2	5	8	9	6	69	
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									2		3		19	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症				1				1	19	28	27	22	260	
急性弛緩性麻痺									1			1	4	
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)		2				1		3	9	9	9	15	114	
クリプトスポリジウム症													1	
クロイツフェルト・ヤコブ病									3	1	3	4	27	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症						2		1	7	32	35	26	378	
後天性免疫不全症候群			1	2		1		1	9	13	14	13	9	144
ジアルジア症									1		1		3	
侵襲性インフルエンザ菌感染症								1	1	9	3	7	8	102
侵襲性髄膜炎菌感染症											1		6	
侵襲性肺炎球菌感染症			1		3	1		14	39	36	44	37	462	
水痘(入院例に限る)				1				3	8	5	4	8	52	
先天性風しん症候群														
梅毒		4		1	2	6		5	38	175	140	143	145	1,719
播種性クリプトコックス症									1	2		3	24	
破傷風						1		1		1	2	2	11	
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	1					3	3	3	3	1	19	
百日咳					1			1	14	8	8	7	78	
風しん														
麻疹											1	1	2	
薬剤耐性アシネトバクター感染症														
新型コロナウイルス感染症														

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムポックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。



## 定点把握感染症集計表(届出数)

2024年 8 週

	静岡県							全国				
	3週	4週	5週	6週	7週	今週	計	5週	6週	7週	今週	計
RSウイルス感染症	4	3	3	2	4	5	21	379	438	464	658	1,939
咽頭結膜熱	109	109	85	76	76	52	507	3,600	3,339	2,851	2,640	12,430
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	318	370	391	364	260	351	2,054	14,487	14,419	11,534	11,561	52,001
感染性胃腸炎	492	654	555	514	453	435	3,103	23,266	21,495	17,950	17,106	79,817
水痘	17	10	4	19	7	11	68	434	429	364	399	1,626
手足口病	4	10	8	13	4	3	42	684	589	532	591	2,396
伝染性紅斑	1		4		1	2	8	61	61	54	55	231
突発性発しん	12	19	15	17	17	12	92	630	577	591	591	2,389
ヘルパンギーナ	1			1	1		3	82	61	53	93	289
流行性耳下腺炎	1	3	6	8	4	7	29	91	72	90	88	341
インフルエンザ	2,088	1,972	2,008	1,924	1,802	1,307	11,101	111,501	117,652	101,832	82,741	413,726
新型コロナウイルス感染症	2,128	2,660	2,987	2,455	1,770	1,402	13,402	79,605	67,614	49,821	39,124	236,164
急性出血性結膜炎								5	7	5	4	21
流行性角結膜炎	13	10	2	9	2	4	40	368	349	326	293	1,336
細菌性髄膜炎						1	1	6	7	2	5	20
無菌性髄膜炎								6	10	4	8	28
マイコプラズマ肺炎	1	1		1	4		7	37	40	37	26	140
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										2		2
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								6	9	7	2	24

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

## 定点把握感染症集計表(定点当り)

2024年 8 週

	静岡県						全国			
	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	今週	第5週	第6週	第7週	今週
RSウイルス感染症	0.04	0.03	0.03	0.02	0.04	0.06	0.12	0.14	0.15	0.21
咽頭結膜熱	1.22	1.22	0.96	0.85	0.85	0.58	1.15	1.07	0.91	0.84
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.57	4.16	4.39	4.09	2.92	3.94	4.63	4.61	3.68	3.69
感染性胃腸炎	5.53	7.35	6.24	5.78	5.09	4.89	7.43	6.88	5.73	5.46
水痘	0.19	0.11	0.04	0.21	0.08	0.12	0.14	0.14	0.12	0.13
手足口病	0.04	0.11	0.09	0.15	0.04	0.03	0.22	0.19	0.17	0.19
伝染性紅斑	0.01		0.00		0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
突発性発しん	0.13	0.21	0.17	0.19	0.19	0.13	0.20	0.18	0.19	0.19
ヘルパンギーナ	0.01			0.01	0.01		0.03	0.02	0.02	0.03
流行性耳下腺炎	0.01	0.03	0.07	0.09	0.04	0.08	0.03	0.02	0.03	0.03
インフルエンザ	15.02	14.19	14.45	13.84	12.96	9.40	22.62	23.93	20.64	16.76
新型コロナウイルス感染症	15.31	19.14	21.49	17.66	12.73	10.09	16.15	13.75	10.10	7.92
急性出血性結膜炎							0.01	0.01	0.01	0.01
流行性角結膜炎	0.59	0.45	0.09	0.41	0.09	0.18	0.53	0.50	0.47	0.42
細菌性髄膜炎						0.10	0.01	0.01	0.00	0.01
無菌性髄膜炎							0.01	0.02	0.01	0.02
マイコプラズマ肺炎	0.10	0.10		0.10	0.40		0.08	0.08	0.08	0.05
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							-	-	0.00	-
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.02	0.01	0.00

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 8 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	5	0.06	52	0.58	351	3.94	435	4.89	11	0.12
賀茂					4	2.00	7	3.50		
熱海					6	1.50	28	7.00		
東部	2	0.15	22	1.69	63	4.85	65	5.00	1	0.08
御殿場			7	1.75	121	30.25	39	9.75	1	0.25
富士			1	0.11	18	2.00	26	2.89	6	0.67
静岡市	2	0.13	10	0.63	28	1.75	64	4.00	2	0.13
中部			3	0.27	18	1.64	57	5.18	1	0.09
西部			4	0.33	41	3.42	52	4.33		
浜松市	1	0.06	5	0.28	52	2.89	97	5.39		

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	3	0.03	2	0.02	12	0.13	0		7	0.08
賀茂										
熱海										
東部			1	0.08	2	0.15			3	0.23
御殿場					1	0.25			1	0.25
富士	1	0.11			3	0.33			1	0.11
静岡市	1	0.06							1	0.06
中部										
西部	1	0.08	1	0.08	1	0.08				
浜松市					5	0.28			1	0.06

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	1307	9.40	1,402	10.09	0	0	0	0	89	50
賀茂	6	2.00	24	8.00					2	1
熱海	48	8.00	79	13.17					4	2
東部	217	10.85	176	8.80					13	7
御殿場	102	17.00	186	31.00					4	2
富士	136	9.07	178	11.87					9	6
静岡市	129	5.16	154	6.16					16	9
中部	114	6.71	193	11.35					11	6
西部	269	14.16	196	10.32					12	7
浜松市	286	10.21	216	7.71					18	10

\*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 8 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		4	0.18	1	0.10	0		0	
賀茂										
熱海					1	1.00				
東部			2	0.50						
御殿場										
富士										
静岡市			1	0.20						
中部										
西部										
浜松市			1	0.33						

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

\*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

\*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

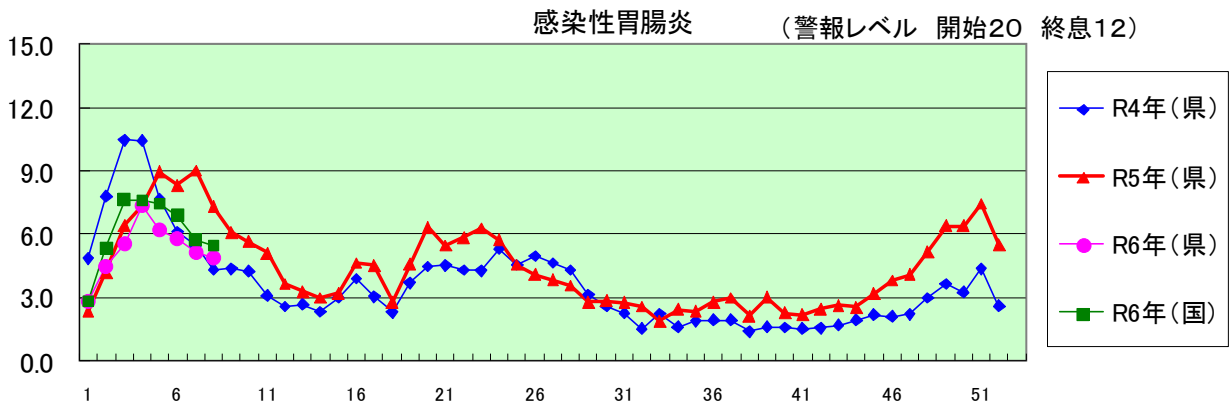
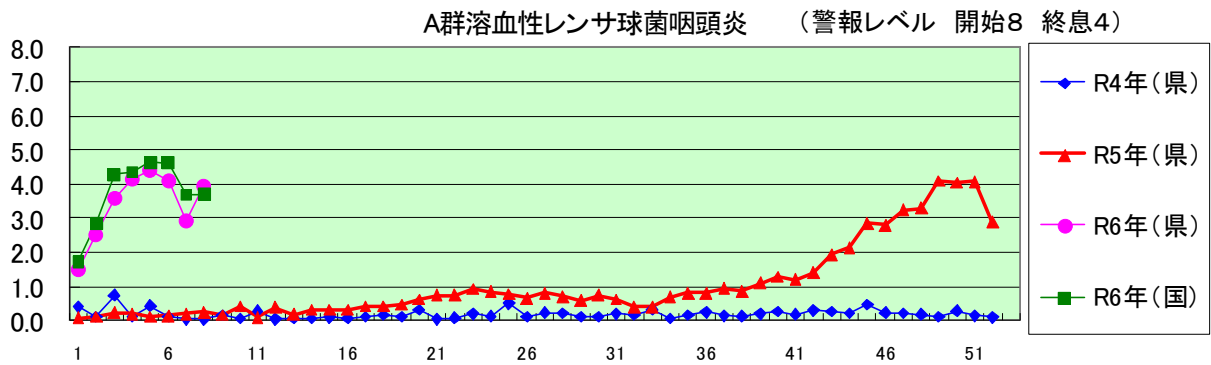
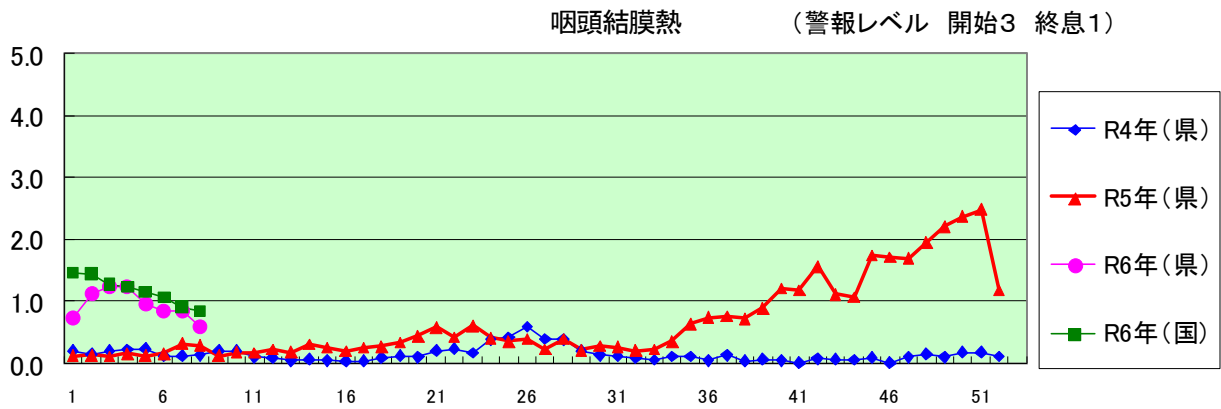
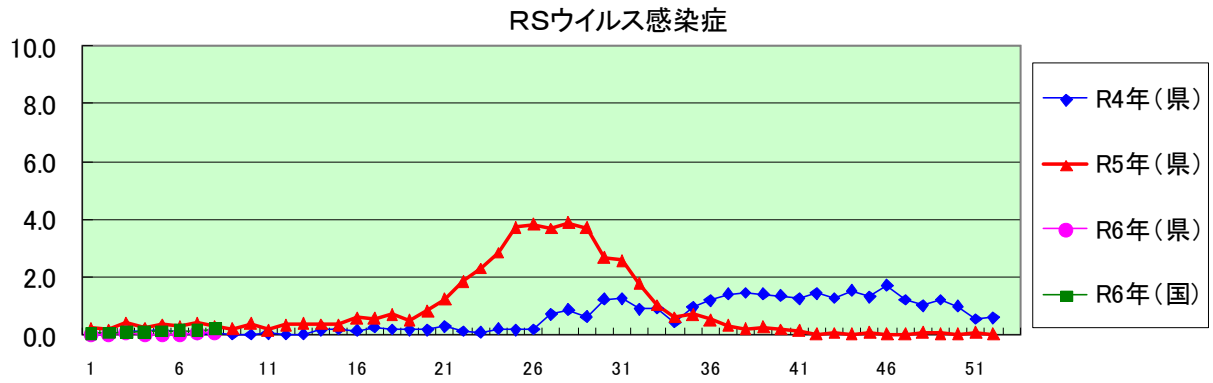
2024年 8 週

年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳							
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	1		1		1	1						1									5
咽頭結膜熱		1	12	9	6	12	5	3		1	1	1		1							52
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	16	35	37	50	37	31	31	24	50	17	19							351
感染性胃腸炎	1	11	47	47	41	43	44	31	27	32	17	54	9	31							435
水痘		1	1					1	3	1	1	3									11
手足口病	1		2																		3
伝染性紅斑			1								1										2
突発性発しん	1	3	6	1	1																12
ヘルパンギーナ																					
流行性耳下腺炎							2	2		1		2									7
インフルエンザ	1	5	29	25	35	38	80	104	109	99	126	360	93	45	65	47	19	12	7	8	1,307
新型コロナウイルス感染症	14	17	28	28	24	21	23	22	24	23	22	114	69	129	98	141	140	125	141	199	1,402
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎							1			1				1		1					4
細菌性髄膜炎															1						1
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

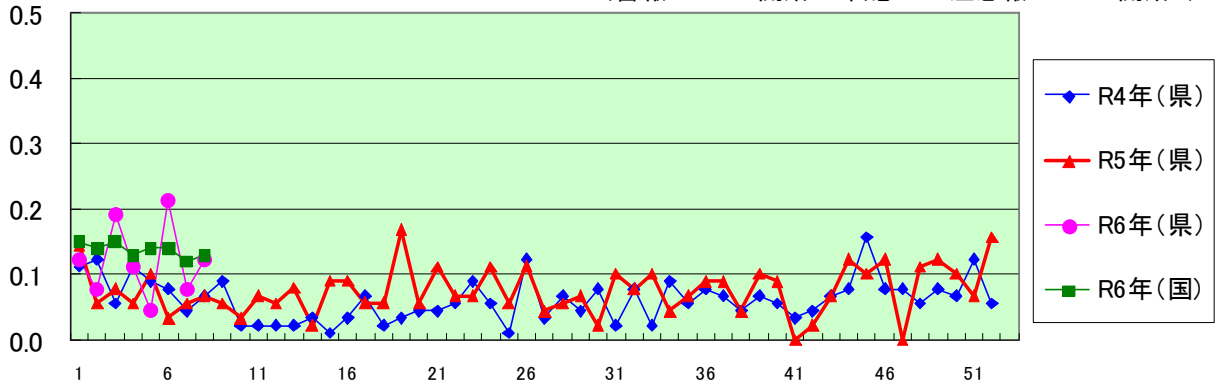
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2024年 8 週

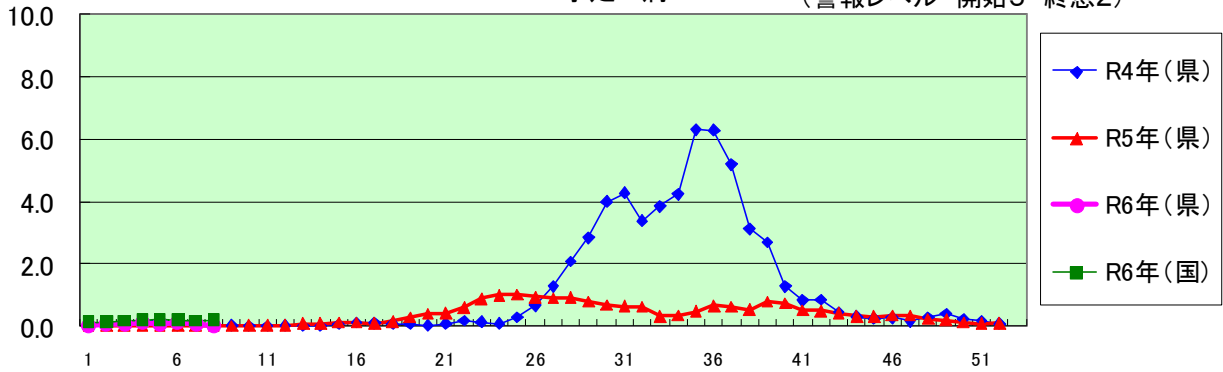
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳							
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.01		0.01		0.01	0.01						0.01									0.06
咽頭結膜熱		0.01	0.13	0.10	0.07	0.13	0.06	0.03		0.01	0.01	0.01		0.01							0.58
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.04	0.18	0.39	0.42	0.56	0.42	0.35	0.35	0.27	0.56	0.19	0.21							3.94
感染性胃腸炎	0.01	0.12	0.53	0.53	0.46	0.48	0.49	0.35	0.30	0.36	0.19	0.61	0.10	0.35							4.89
水痘		0.01	0.01					0.01	0.03	0.01	0.01	0.03									0.12
手足口病	0.01		0.02																		0.03
伝染性紅斑			0.01								0.01										0.02
突発性発しん	0.01	0.03	0.07	0.01	0.01																0.13
ヘルパンギーナ																					
流行性耳下腺炎							0.02	0.02		0.01		0.02									0.08
インフルエンザ	0.01	0.04	0.21	0.18	0.25	0.27	0.58	0.75	0.78	0.71	0.91	2.59	0.67	0.32	0.47	0.34	0.14	0.09	0.05	0.06	9.40
新型コロナウイルス感染症	0.10	0.12	0.20	0.20	0.17	0.15	0.17	0.16	0.17	0.17	0.16	0.82	0.50	0.93	0.71	1.01	1.01	0.90	1.01	1.43	10.09
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎							0.05			0.05				0.05		0.05					0.18
細菌性髄膜炎															0.10						0.10
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					



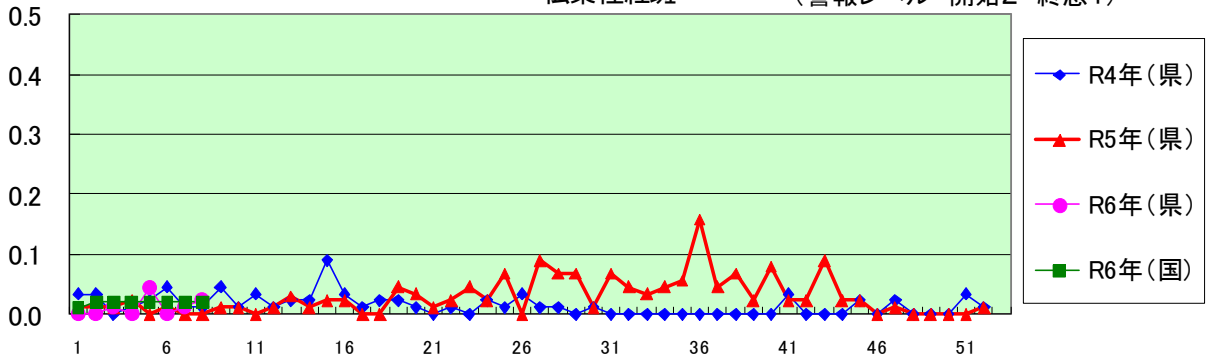
水痘 (警報レベル 開始2 終息1 注意報レベル 開始1)



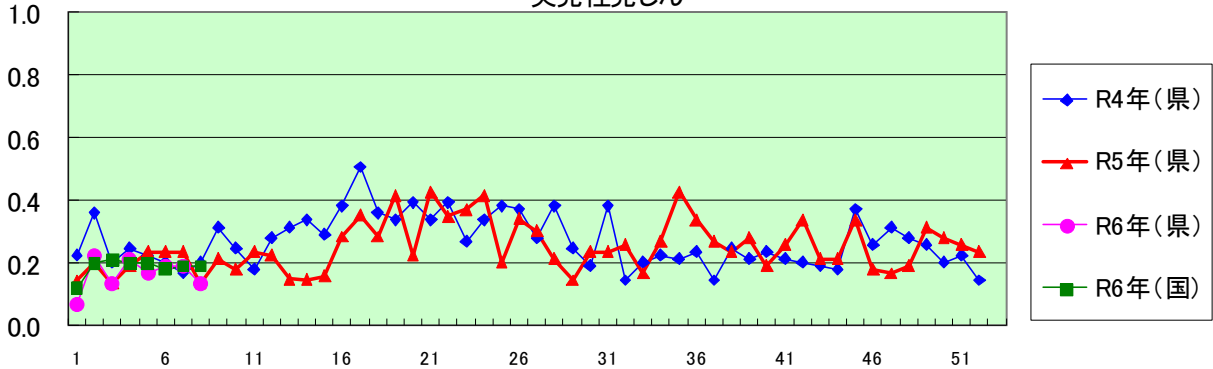
手足口病 (警報レベル 開始5 終息2)

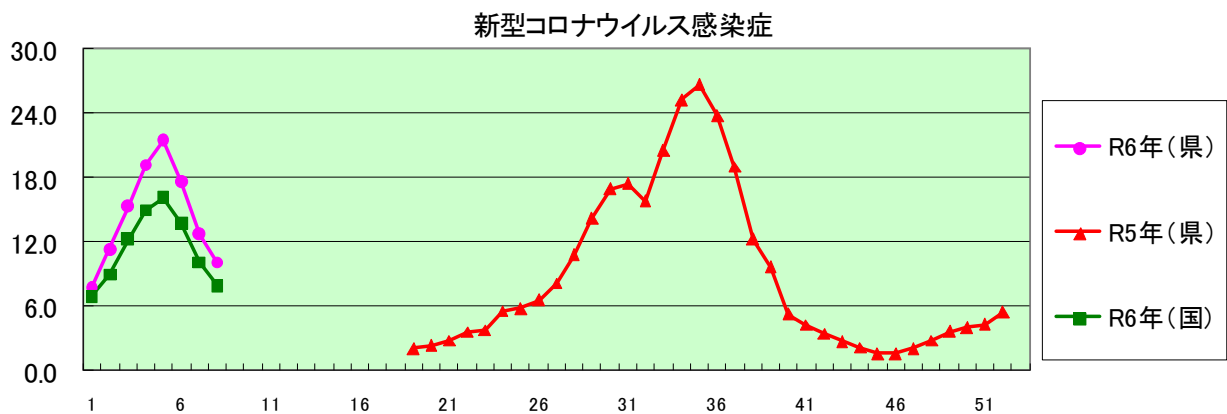
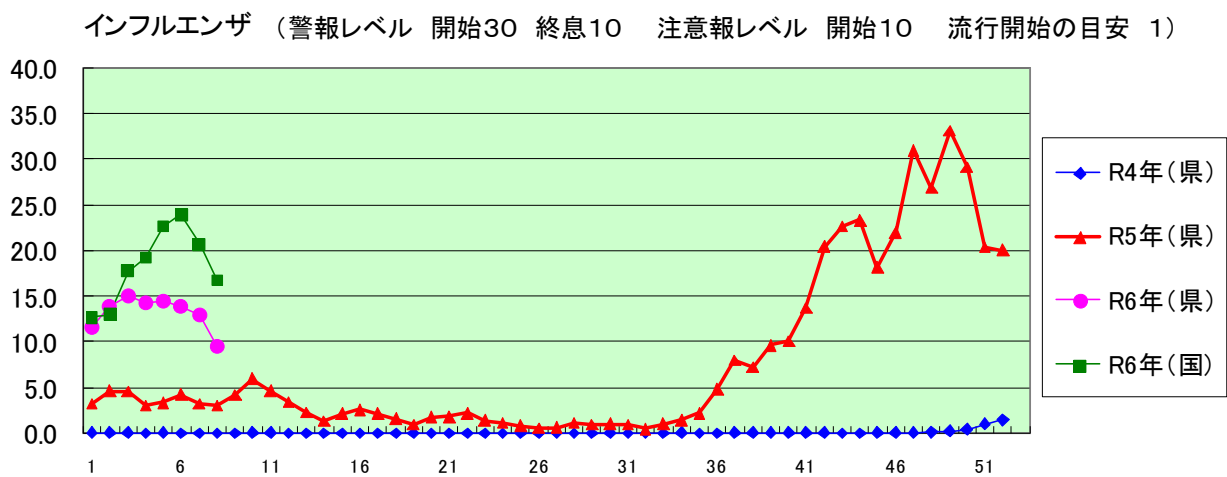
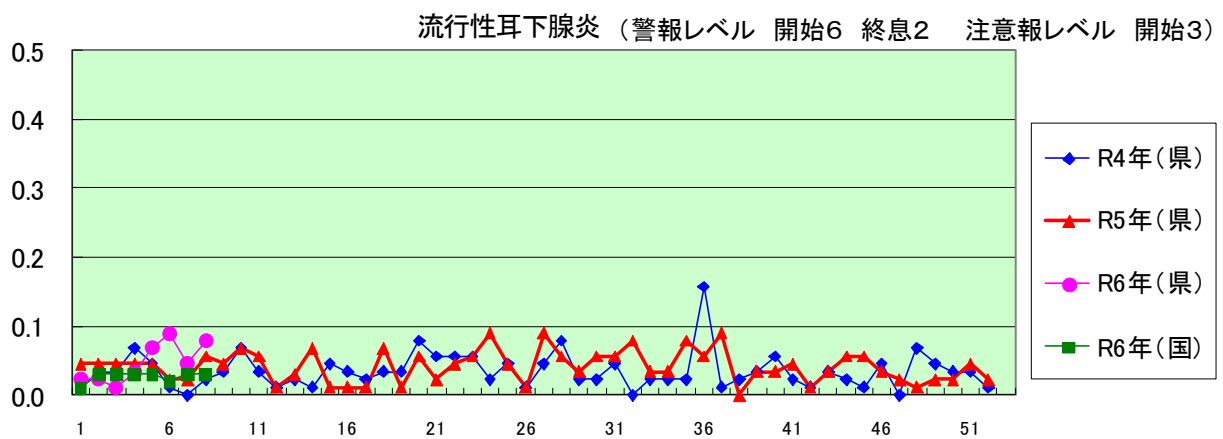
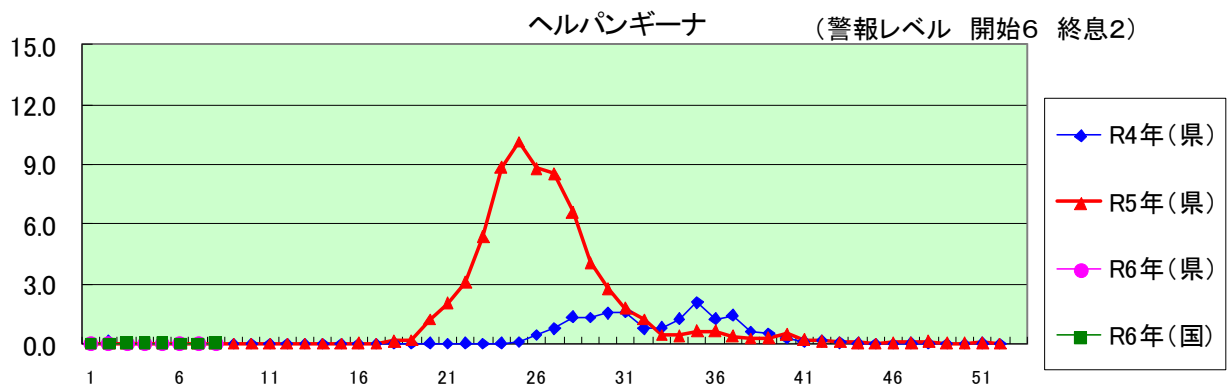


伝染性紅斑 (警報レベル 開始2 終息1)

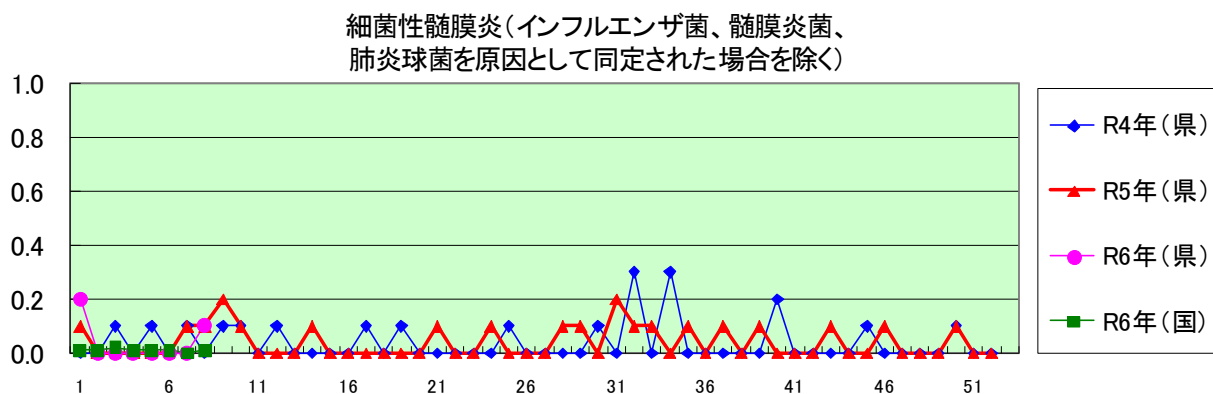
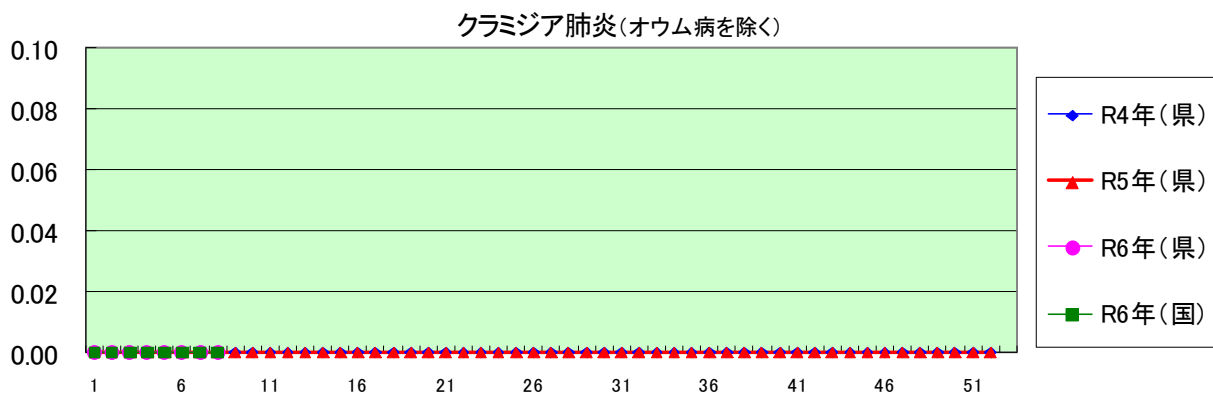
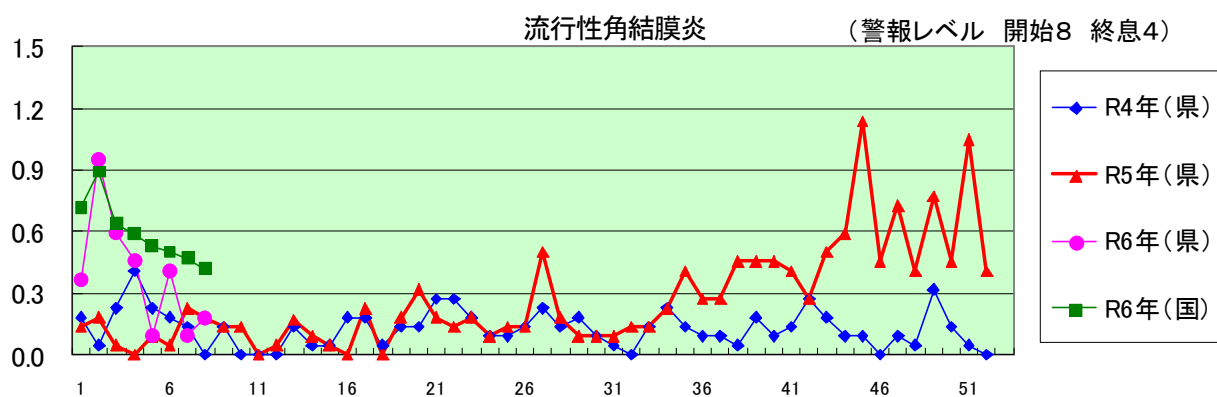
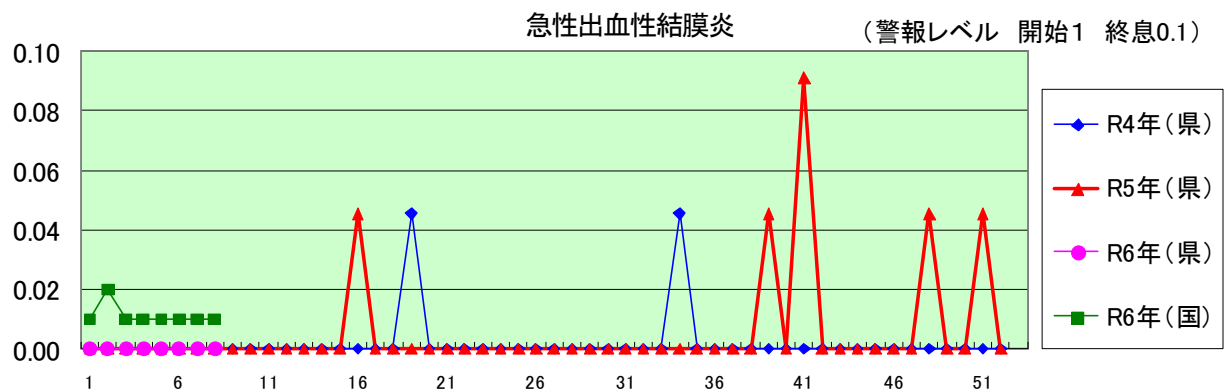


突発性発しん

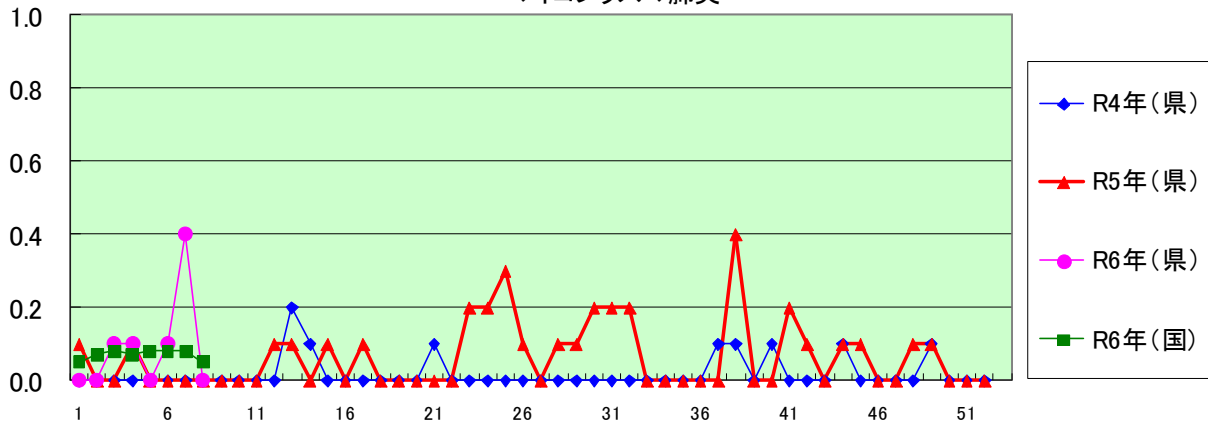




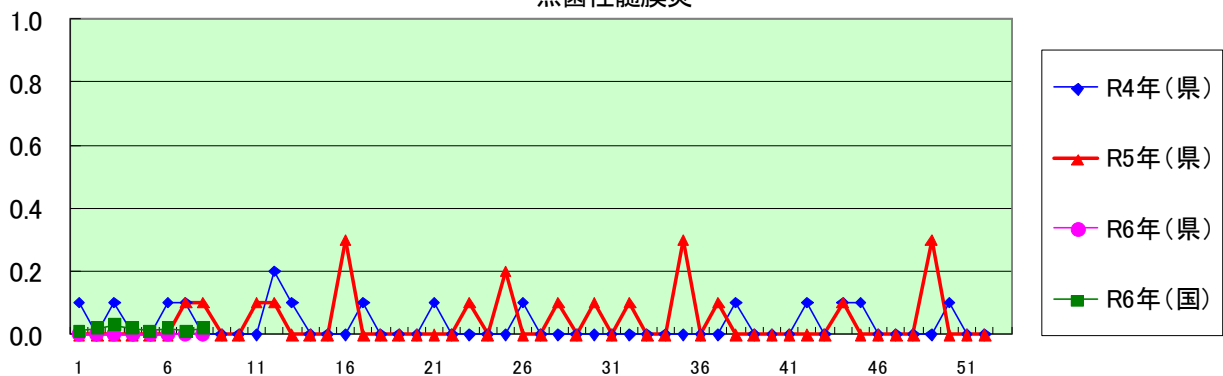




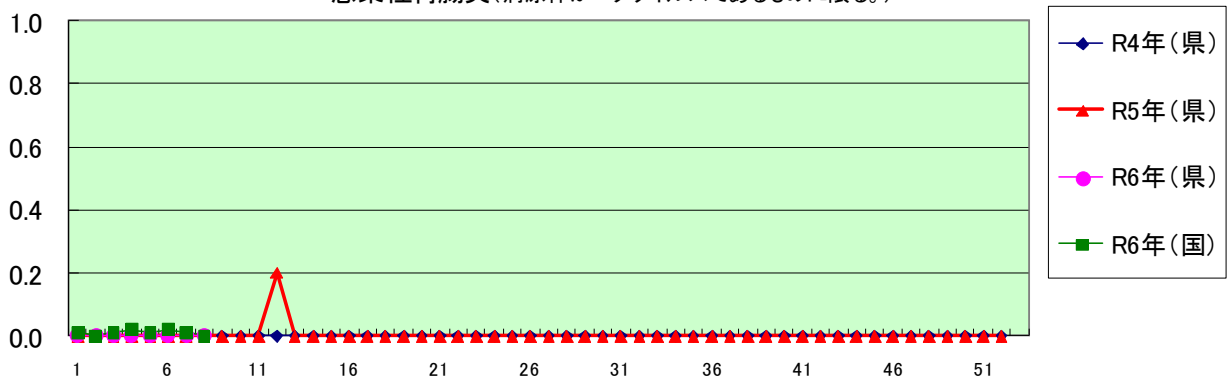
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

## 定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2024年 1 月

	静岡県							全国				
	8月	9月	10月	11月	12月	今月	計	10月	11月	12月	今月	計
性器クラミジア感染症	63	72	66	61	53	61	376	2,633	2,437	2,462	2,508	10,040
性器ヘルペスウイルス感染症	16	18	14	23	18	19	108	852	791	798	814	3,255
尖圭コンジローマ	17	15	11	15	15	13	86	559	528	507	502	2,096
淋菌感染症	16	20	15	11	13	13	88	815	823	791	852	3,281
性器クラミジア感染症(男)	30	23	22	22	16	18	131	1,325	1,141	1,211	1,274	4,951
性器クラミジア感染症(女)	33	49	44	39	37	43	245	1,308	1,296	1,251	1,234	5,089
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	4	4	7	9	9	5	38	323	280	276	300	1,179
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	12	14	7	14	9	14	70	529	511	522	514	2,076
尖圭コンジローマ(男)	7	10	6	8	6	8	45	364	343	321	335	1,363
尖圭コンジローマ(女)	10	5	5	7	9	5	41	195	185	186	167	733
淋菌感染症(男)	12	12	6	7	9	9	55	615	591	604	670	2,480
淋菌感染症(女)	4	8	9	4	4	4	33	200	232	187	182	801
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	25	21	21	16	26	27	136	1,356	1,233	1,356	1,328	5,273
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								71	74	88	80	313
薬剤耐性緑膿菌感染症								6	5	7	6	24

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

## 定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2024年 1 月

	静岡県						全国			
	8月	9月	10月	11月	12月	今月	10月	11月	12月	今月
性器クラミジア感染症	2.10	2.40	2.20	2.03	1.77	2.03	2.69	2.59	2.51	2.57
性器ヘルペスウイルス感染症	0.53	0.60	0.47	0.77	0.60	0.63	0.87	0.81	0.81	0.83
尖圭コンジローマ	0.57	0.50	0.37	0.50	0.50	0.43	0.57	0.54	0.52	0.51
淋菌感染症	0.53	0.67	0.50	0.37	0.43	0.43	0.83	0.84	0.81	0.87
性器クラミジア感染症(男)	1.00	0.77	0.73	0.73	0.53	0.60	1.35	1.27	1.24	1.31
性器クラミジア感染症(女)	1.10	1.63	1.47	1.30	1.23	1.43	1.34	1.32	1.28	1.27
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.13	0.13	0.23	0.30	0.30	0.17	0.33	0.29	0.28	0.31
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.40	0.47	0.23	0.47	0.30	0.47	0.54	0.52	0.53	0.53
尖圭コンジローマ(男)	0.23	0.33	0.20	0.27	0.20	0.27	0.37	0.35	0.33	0.34
尖圭コンジローマ(女)	0.33	0.17	0.17	0.23	0.30	0.17	0.20	0.19	0.19	0.17
淋菌感染症(男)	0.40	0.40	0.20	0.37	0.30	0.30	0.63	0.60	0.62	0.69
淋菌感染症(女)	0.13	0.27	0.30	0.13	0.13	0.13	0.20	0.24	0.19	0.19
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.50	2.10	2.10	1.60	2.60	2.70	2.83	2.58	2.84	2.78
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.15	0.15	0.18	0.17
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.01	0.01	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2024年 1 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	61	2.03	19	0.63	13	0.43	13	0.43
賀茂								
熱海	2	2.00	1	1.00				
東部	3	0.60						
御殿場	6	6.00						
富士	9	3.00	6	2.00	4	1.33	2	0.67
静岡市	18	3.00	3	0.50	6	1.00	7	1.17
中部	8	2.00	5	1.25			2	0.50
西部	10	2.00	3	0.60	1	0.20	1	0.20
浜松市	5	1.00	1	0.20	2	0.40	1	0.20

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	27	2.70	0		0	
賀茂	2	2.00				
熱海						
東部						
御殿場						
富士	2	2.00				
静岡市	14	7.00				
中部	2	2.00				
西部	4	4.00				
浜松市	3	1.50				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

\* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2024年 1 月

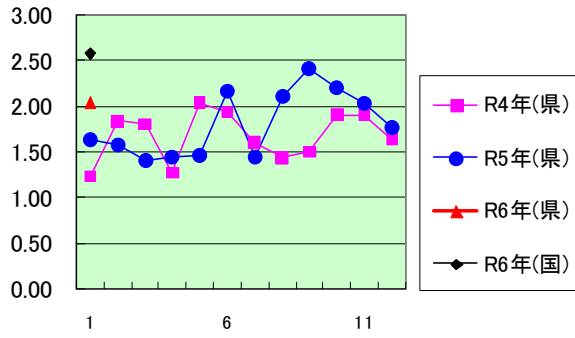
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					10	20	15	8	5			2		1			61
性器ヘルペスウイルス感染症					2	2	5	2	2		1	1	1	1	2		19
尖圭コンジローマ					1	2	3			1	2	1	1	2			13
淋菌感染症					2	2	2		1	4				2			13
性器クラミジア感染症(男)					3	5	6	3				1					18
性器クラミジア感染症(女)					7	15	9	5	5			1		1			43
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							3								2		5
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					2	2	2	2	2		1	1	1	1			14
尖圭コンジローマ(男)							3				2	1	1	1			8
尖圭コンジローマ(女)					1	2				1				1			5
淋菌感染症(男)					1	1	2			4				1			9
淋菌感染症(女)					1	1			1					1			4
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1								1		1	2	2		20	27
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

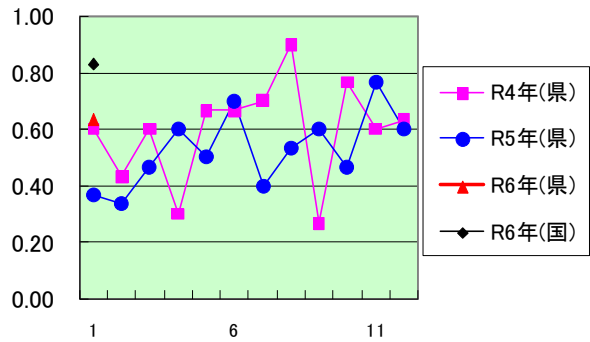
2024年 1 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.33	0.67	0.50	0.27	0.17			0.07		0.03			2.03
性器ヘルペスウイルス感染症					0.07	0.07	0.17	0.07	0.07		0.03	0.03	0.03	0.03	0.07		0.63
尖圭コンジローマ					0.03	0.07	0.10			0.03	0.07	0.03	0.03	0.07			0.43
淋菌感染症					0.07	0.07	0.07		0.03	0.13				0.07			0.43
性器クラミジア感染症(男)					0.10	0.17	0.20	0.10				0.03					0.60
性器クラミジア感染症(女)					0.23	0.50	0.30	0.17	0.17			0.03		0.03			1.43
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							0.10								0.07		0.17
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.07	0.07	0.07	0.07	0.07		0.03	0.03	0.03	0.03			0.47
尖圭コンジローマ(男)							0.10				0.07	0.03	0.03	0.03			0.27
尖圭コンジローマ(女)					0.03	0.07				0.03				0.03			0.17
淋菌感染症(男)					0.03	0.03	0.07			0.13				0.03			0.30
淋菌感染症(女)					0.03	0.03			0.03					0.03			0.13
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0.10								0.10		0.10	0.20	0.20		2.00	2.70
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

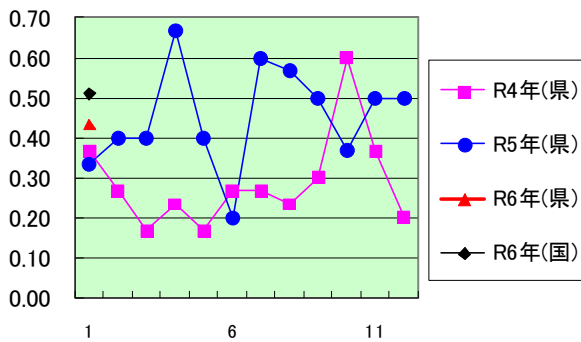
性器クラミジア感染症



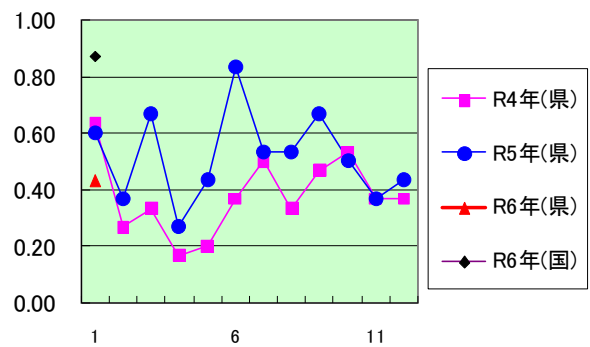
性器ヘルペスウイルス感染症



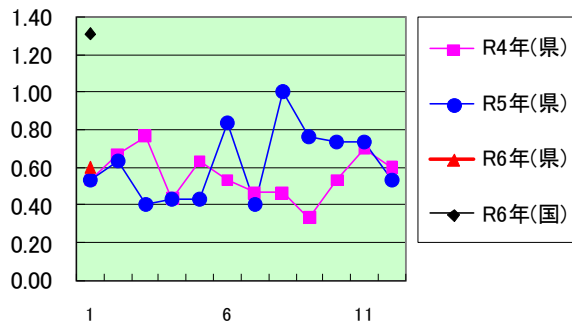
尖圭コンジローマ



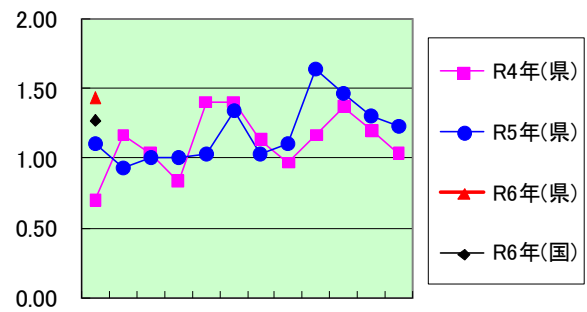
淋菌感染症



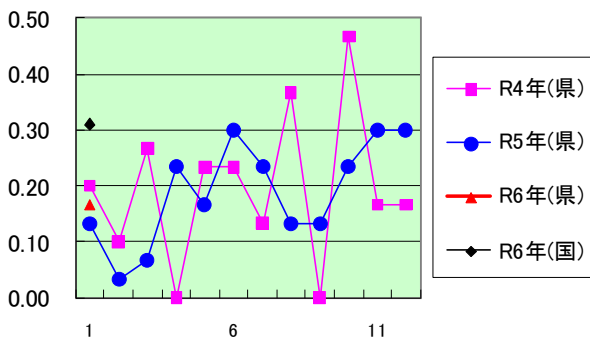
性器クラミジア感染症(男)



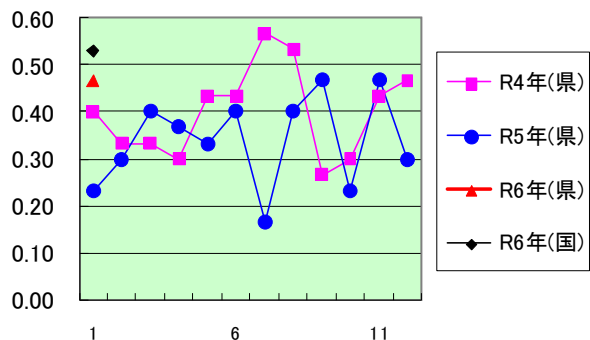
性器クラミジア感染症(女)



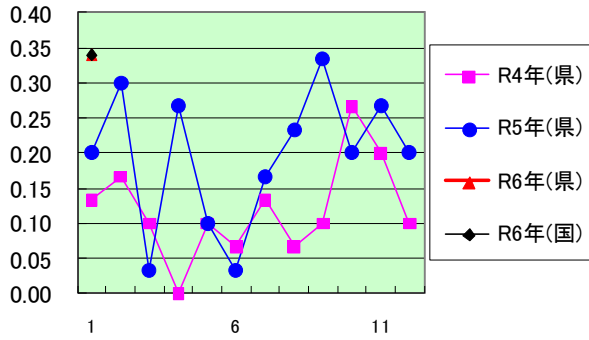
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



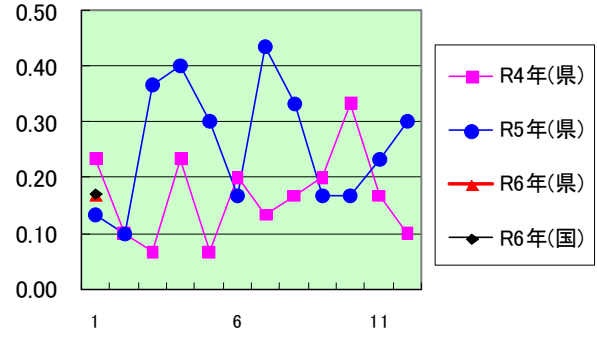
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



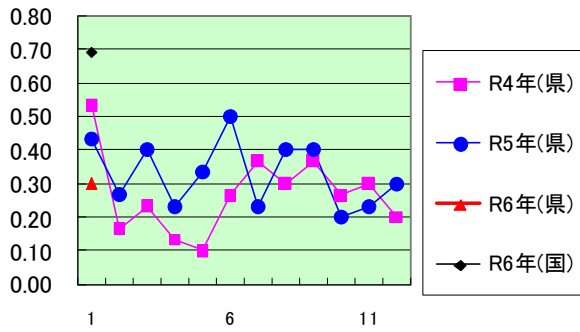
尖圭コンジローマ(男)



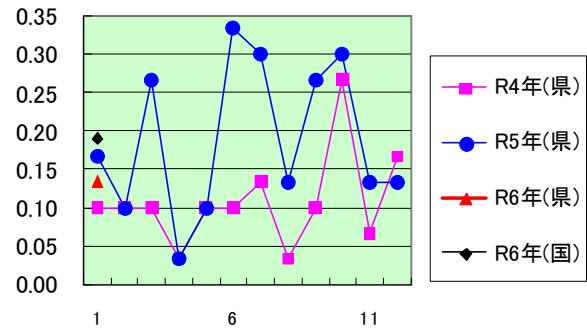
尖圭コンジローマ(女)



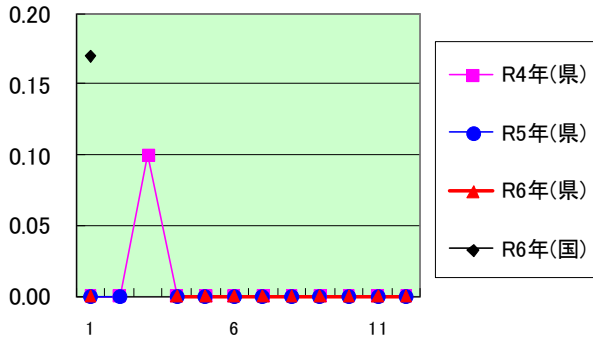
淋菌感染症(男)



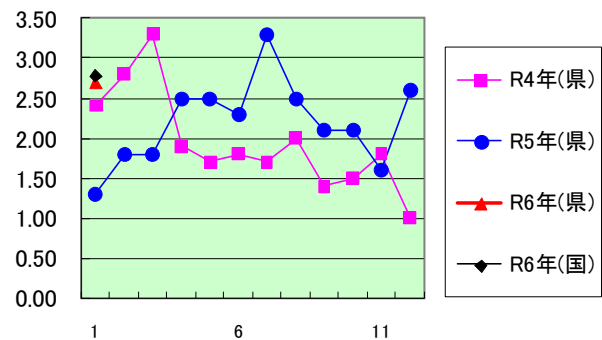
淋菌感染症(女)



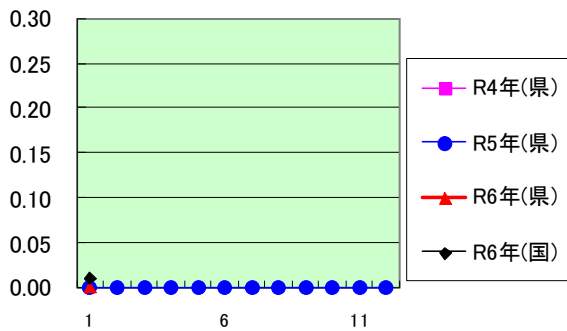
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



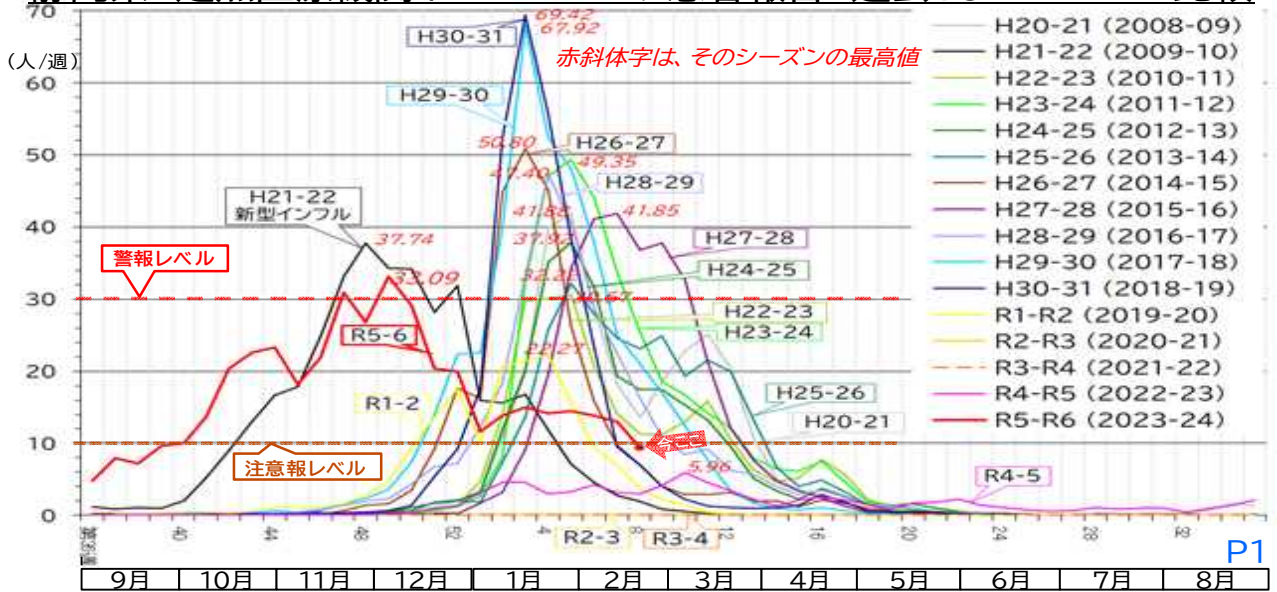
薬剤耐性緑膿菌感染症



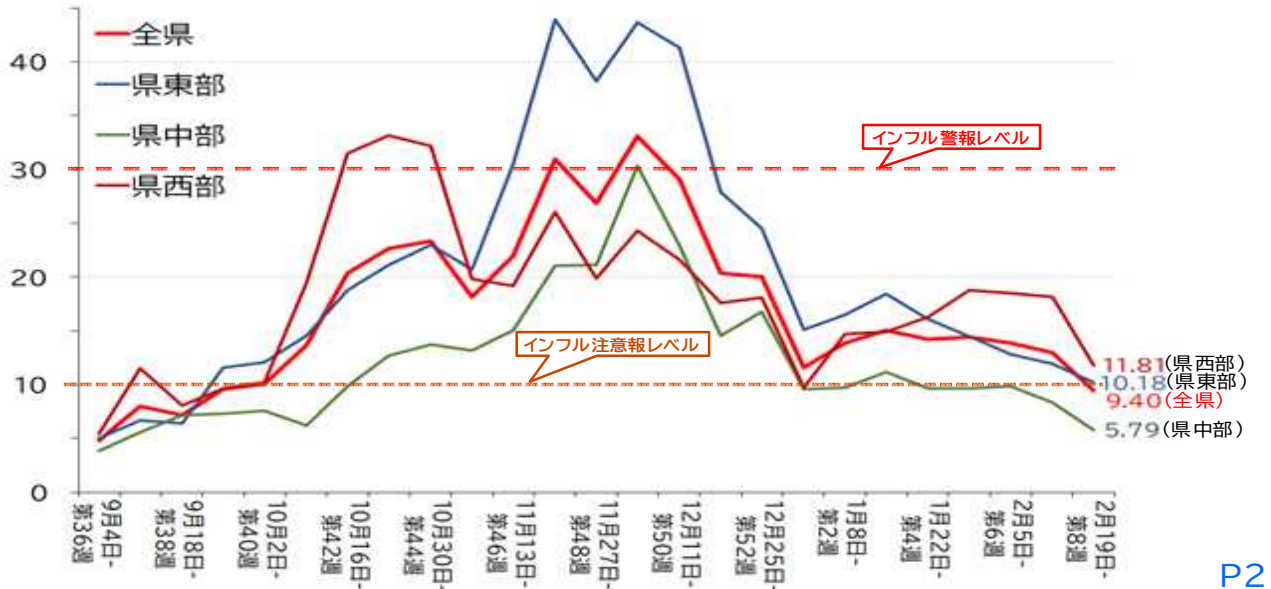
定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症



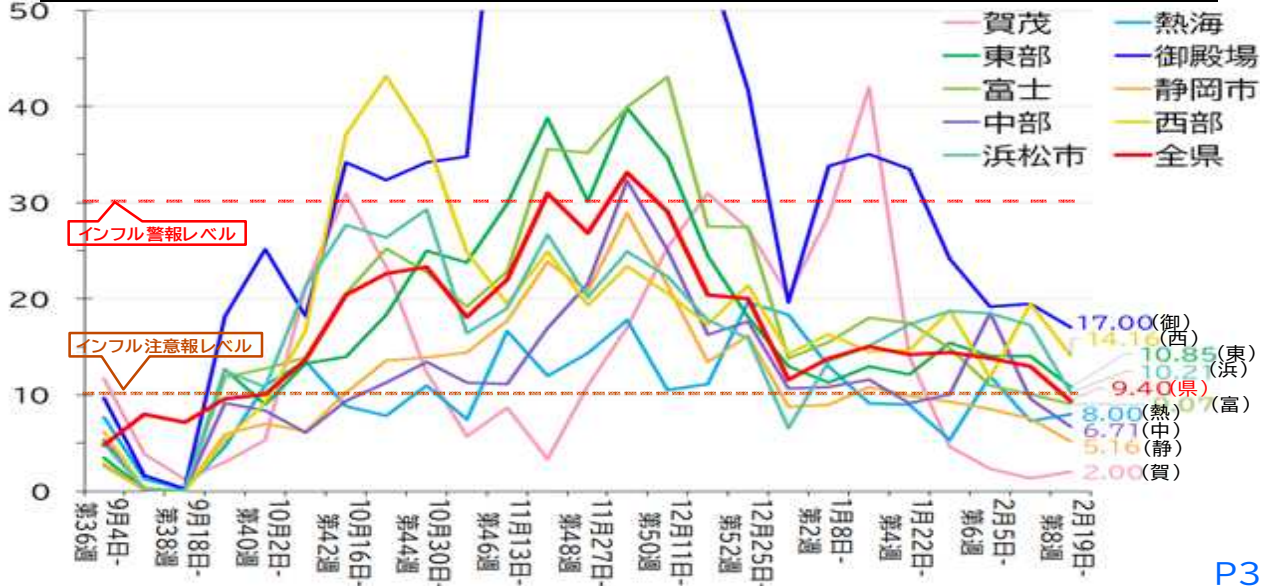
### 静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 過去16シーズンの比較



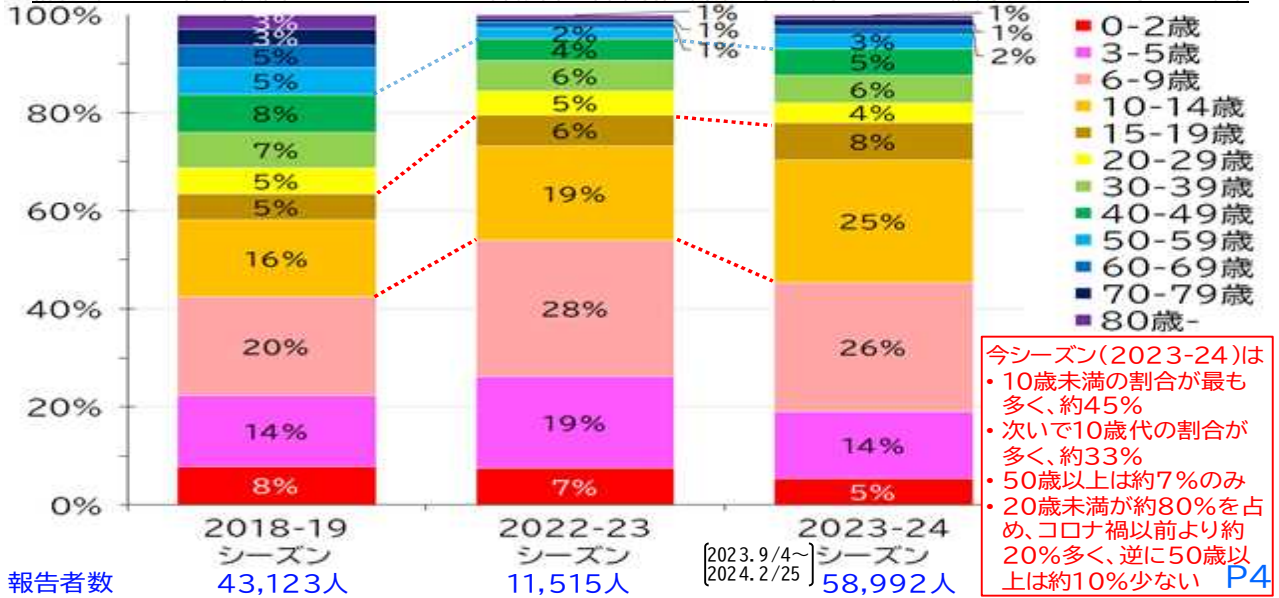
### 静岡県 東中西部地域別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(2/25まで)



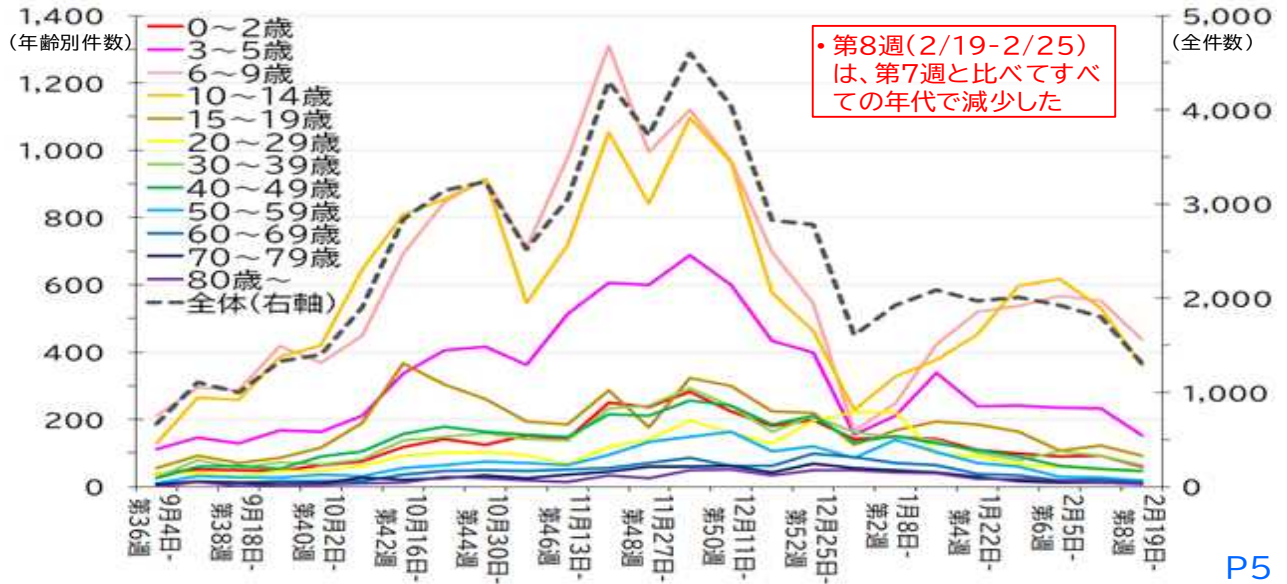
### 静岡県 保健所管内別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(2/25まで)



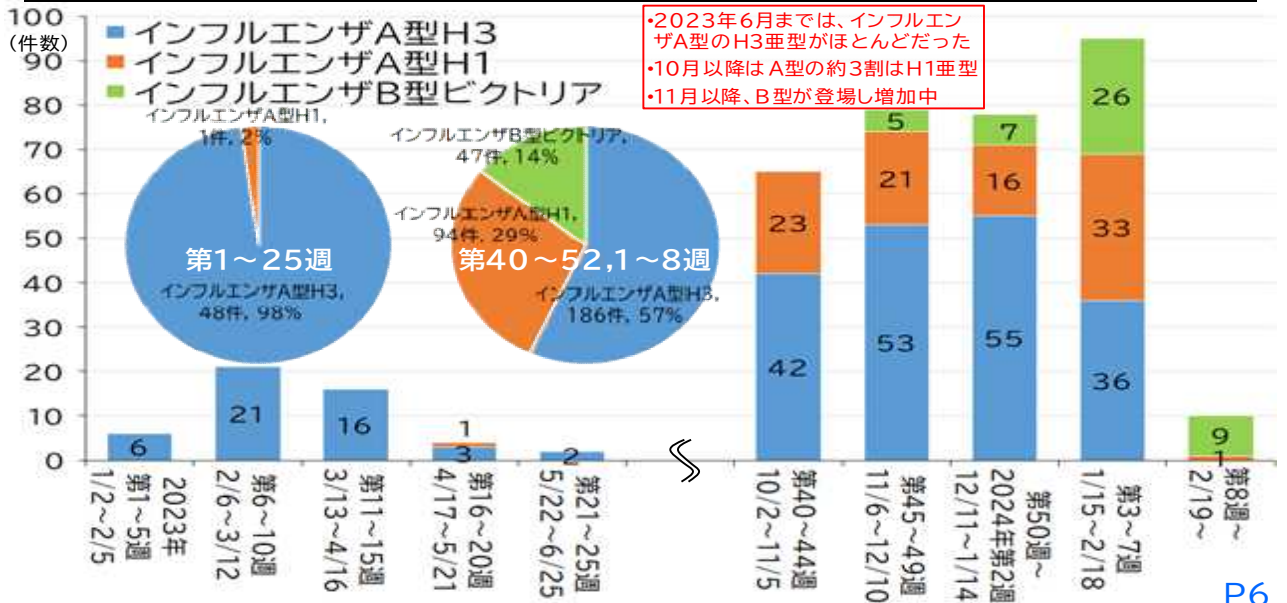
静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合(今季、昨季とコロナ禍前2018-19季の比較)



静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別報告数 今季(2/25まで)



静岡県内衛生研究所(県、静岡市、浜松市) インフルエンザウイルス型別検出状況 (2023.1/2~2024.2/25)



## <インフルエンザ拡大防止のために県民の皆様へ>

### ワクチンの接種について

- ・ インフルエンザによって高齢者や基礎疾患のある方は、重症化することがあり、乳幼児ではまれにインフルエンザ脳症を起こすことがあります。ワクチン接種により、死亡や入院の危険が減少するとされています。
- ・ 今シーズンのインフルエンザワクチンの供給量は、昨シーズンの使用量を超える供給量となります。
- ・ **65歳以上等の定期接種対象者で接種を希望する方は、お早めの接種をお願いします。**
- ・ **定期接種対象者以外でも、特に、基礎疾患のある方や、乳幼児、以前インフルエンザにかかってつらかった方は接種の御検討をお願いします。**

(インフルエンザワクチンの接種によって、インフルエンザの重症化を予防する効果や発症をある程度抑える効果が期待できる一方、接種時の体調によっては副反応などが生じる場合もありますので、かかりつけ医などと相談しつつ、接種を検討いただくようお願いいたします。)

- ・ なお、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時に接種できます。

### 「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

- ・ 体調が悪い場合は、人が集まるイベントに参加することは控えましょう。
- ・ 人混みでは、**咳エチケット**（咳やくしゃみが出るときは、マスクを着用するか、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- ・ インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- ・ 人が集まる室内では、十分に換気をしましょう
- ・ こまめに手洗いをしましょう
- ・ なるべく密を避けましょう
- ・ 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

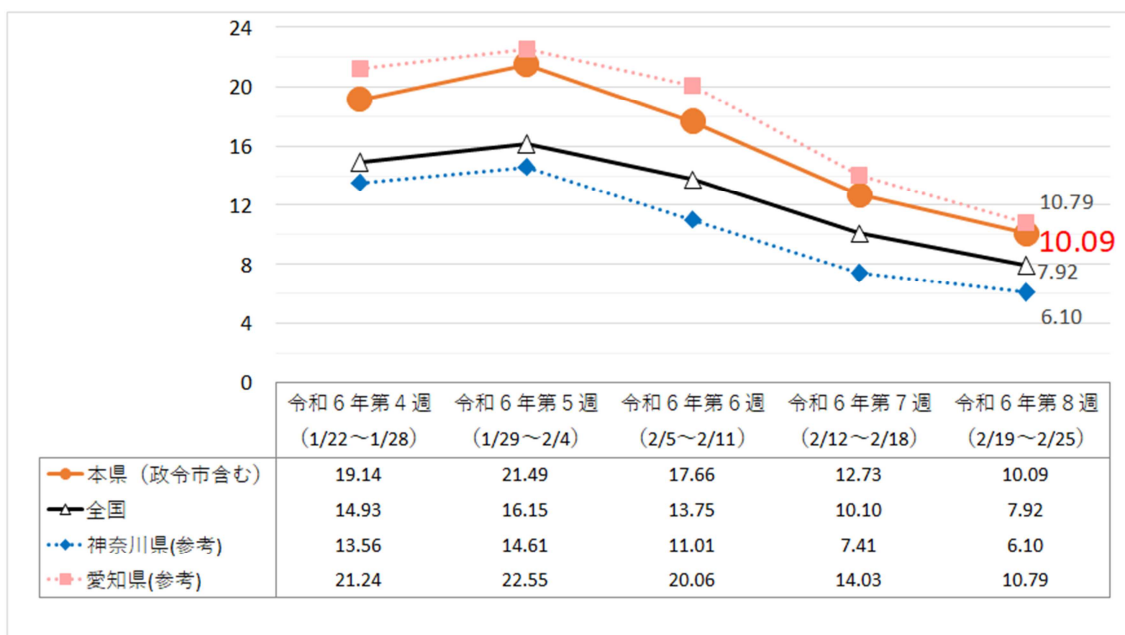
# 新型コロナウイルス感染症について

令和6年第8週（令和6年2月19日～2月25日）

## ★令和6年第8週の感染状況について

- ・県全体の定点医療機関当たり患者数は **10.09 人/週** で、前週(12.73 人/週)に比べて減少しており、**感染拡大注意報レベル**です。
- ・この1週間の定点医療機関から報告された患者数は1,402人で、前週(1,770人)に比べて0.79倍です。
- ・この1週間の全感染者数は、約9,000人(1日平均約1,300人)と推計されます。
- ・東・中・西の地域別では、全ての地域が感染拡大注意報レベルです。保健所管内別では、熱海、東部、御殿場、富士、静岡市、中部、西部、浜松市保健所管内が感染拡大注意報レベルです。

## 1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

## 2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和6年第8週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の管轄市町名	定点医療機関数 (A)	定点医療機関の患者数 (B)	定点医療機関当たりの患者数 (B/A)	県独自の注意報レベル※	県独自の警報レベル※
県東部地域	賀茂	3	24	8.00	13以上	26以上
	熱海	6	79	13.17	9以上	18以上
	東部	20	176	8.80	8以上	16以上
	御殿場	6	186	31.00	17以上	34以上
	富士	15	178	11.87	11以上	22以上
県東部地域		50	643	12.86	10以上	20以上
県中部地域	静岡市	25	154	6.16	6以上	12以上
	中部	17	193	11.35	8以上	16以上
県中部地域		42	347	8.26	7以上	14以上
県西部地域	西部	19	196	10.32	10以上	20以上
	浜松市	28	216	7.71	7以上	14以上
県西部地域		47	412	8.77	8以上	16以上
県全体		139	1402	10.09	8以上	16以上

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で注意報レベルということになります）

※県独自の警報レベル：1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり400人以上となった水準を、暫定的に県独自の警報レベルとして設定しています。

## 3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	令和6年第4週 (1/22~1/28)	令和6年第5週 (1/29~2/4)	令和6年第6週 (2/5~2/11)	令和6年第7週 (2/12~2/18)	令和6年第8週 (2/19~2/25)	前週比推移	
県東部地域	賀茂	17.00	13.67	17.67	14.33	8.00	↓ ↑ ↓ ↓
	熱海	12.83	14.17	20.83	17.83	13.17	↑ ↑ ↓ ↓
	東部	18.05	17.90	12.80	10.20	8.80	↓ ↓ ↓ ↓
	御殿場	66.67	79.50	56.33	34.83	31.00	↑ ↓ ↓ ↓
	富士	24.87	29.53	20.93	15.80	11.87	↑ ↓ ↓ ↓
県東部地域	25.24	28.08	21.72	16.00	12.86	↑ ↓ ↓ ↓	
県中部地域	静岡市	17.84	17.16	13.20	8.76	6.16	↓ ↓ ↓ ↓
	中部	16.12	18.12	18.24	12.88	11.35	↑ ↑ ↓ ↓
県中部地域	17.14	17.55	15.24	10.43	8.26	↑ ↓ ↓ ↓	
県西部地域	西部	15.42	19.53	17.16	15.53	10.32	↑ ↓ ↓ ↓
	浜松市	13.75	16.96	14.39	8.46	7.71	↑ ↓ ↓ ↓
県西部地域	14.43	18.00	15.51	11.32	8.77	↑ ↓ ↓ ↓	
県全体	19.14	21.49	17.66	12.73	10.09	↑ ↓ ↓ ↓	

## 4 感染拡大注意報・警報

注意報レベル：感染者が急増するおそれがある状況

警報レベル：感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況

### (1) 県全体の状況

県全体	
8	16
10.09	
注意報	

### 【凡例】

保健所名	
保健所管轄市町名	
注意報の 基準値	警報の 基準値
定点当たり患者数	
現在の状況	

### (2) 地域別の状況

県東部地域		県中部地域		県西部地域	
10	20	7	14	8	16
12.86		8.26		8.77	
注意報		注意報		注意報	

### (3) 保健所別の状況

賀茂保健所	熱海保健所	東部保健所	御殿場保健所	富士保健所
下田市, 東伊豆町, 河津町, 南伊豆町, 松崎町, 西伊豆町	熱海市, 伊東市	沼津市, 三島市, 裾野市, 伊豆市, 伊豆の国市, 函南町, 清水町, 長泉町	御殿場市, 小山町	富士市, 富士宮市
13	9	8	17	11
26	18	16	34	22
8.00	13.17	8.80	31.00	11.87
—	注意報	注意報	注意報	注意報
静岡市保健所	中部保健所	西部保健所	浜松市保健所	
静岡市	島田市, 焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町, 川根本町	磐田市, 掛川市, 袋井市, 御前崎市, 菊川市, 湖西市, 森町	浜松市	
6	8	10	7	
12	16	20	14	
6.16	11.35	10.32	7.71	
注意報	注意報	注意報	注意報	

## < 県民の皆様へ >

感染者数は減少傾向ですが、県内で新型コロナウイルスの感染者が週に9千人程度は発生していると推計されます。改めて、以下の点に御留意ください。

- ① 体調に少しでも違和感（特にのど・鼻）があれば、マスクを着用
- ② 急に症状（咳・熱・のどの痛み）が出た時は、学校や仕事を休んで療養を
- ③ 人が集まる所では、換気と咳エチケットを忘れずに
- ④ 医療機関や高齢者施設の受診や訪問時は、できるだけマスクを着用
- ⑤ 高齢者や持病のある方は、ワクチン接種の検討を

なお、近くに人がいないときや屋外では、マスクは不要です。

また、インフルエンザなど他の感染症も流行中です。

帰宅時、食事前、トイレの後など、こまめな手洗いもお願いします。

## 5 感染者全数の推計値

保健所名		定点医療機関の患者数 (A)	管内の定点割合 (B)※1	管内の感染者全数の推計値 (A/B) ※2
	賀茂	24	0.335	-
	熱海	79	0.268	-
	東部	176	0.150	-
	御殿場	186	0.505	-
	富士	178	0.215	-
<b>県東部地域</b>		643	0.221	2910
	静岡市	154	0.109	-
	中部	193	0.154	-
	<b>県中部地域</b>	347	0.125	2776
	西部	196	0.166	-
	浜松市	216	0.117	-
	<b>県西部地域</b>	412	0.134	3075
<b>県全体</b>		1402	0.158	8873

### ※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった患者数を、この期間の全感染者数で割った値。例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

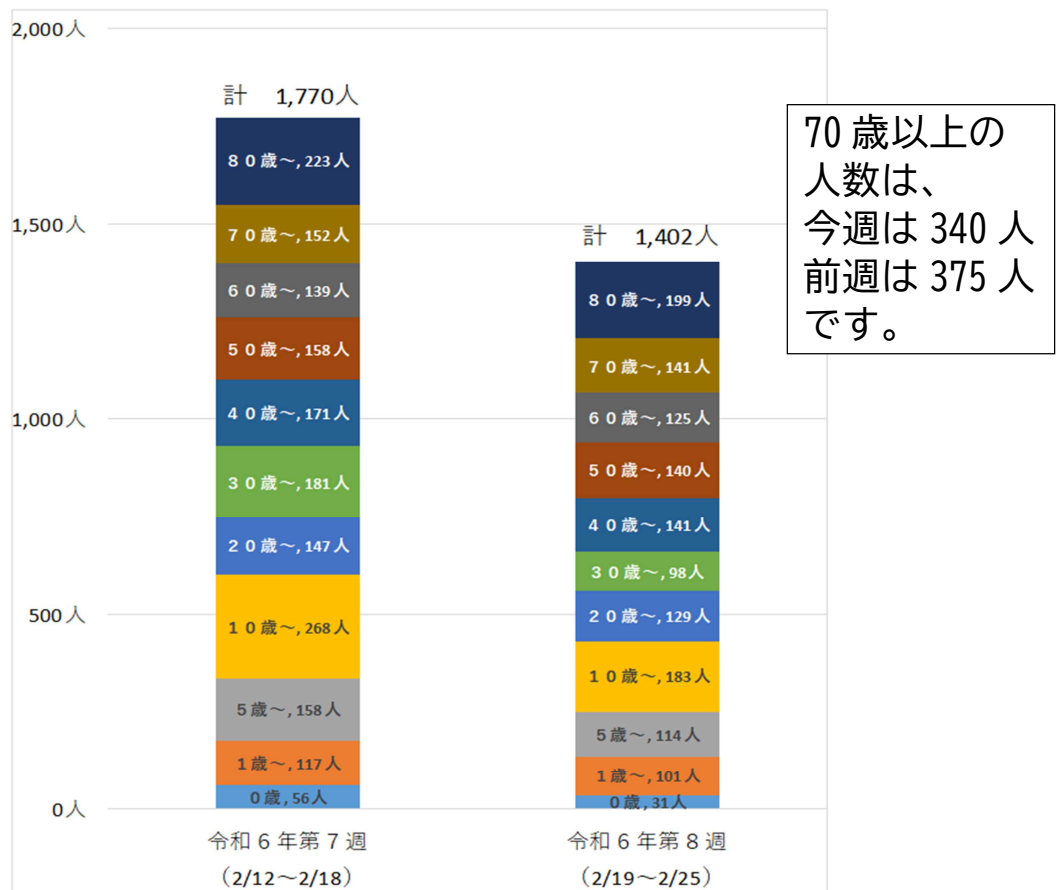
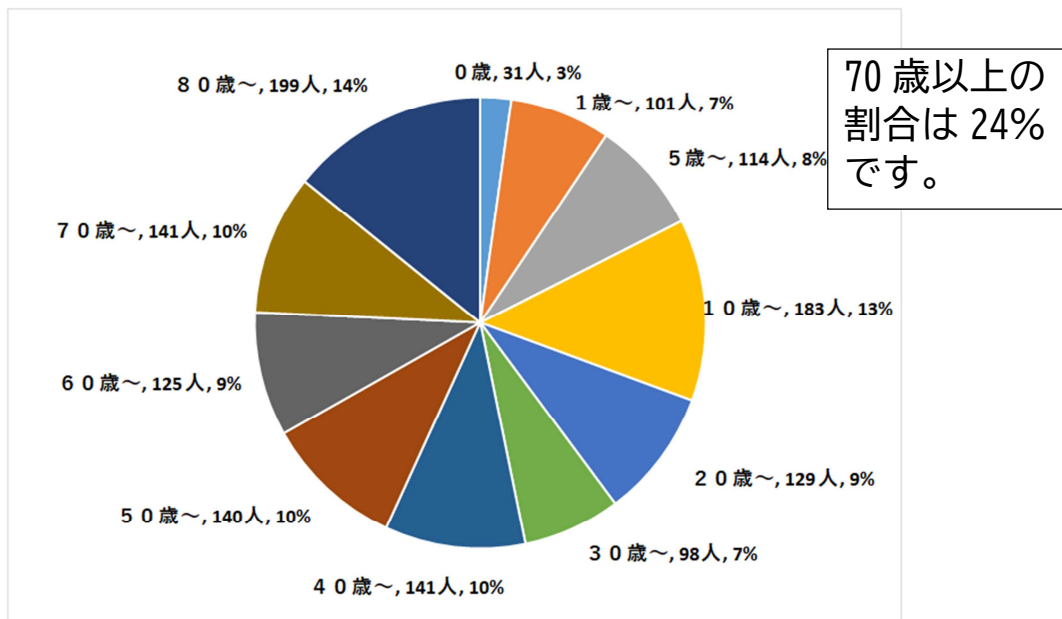
### ※2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の患者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $1,402 \div 0.158 = 8,873$  人と推計されます。各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

## 6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
31人	101人	114人	183人	129人	98人	141人	140人

60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計
125人	141人	199人	0人	1,402人





## 7 令和5年9月20日以降（令和5年秋開始接種） 3～7回目接種の実績

集計期間	全年代				65歳以上			
	静岡県			(参考)全国	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和6年第4週 (1/22～1/28)	8,207	787,345	21.67%	21.52%	5,178	541,910	49.13%	51.61%
令和6年第5週 (1/29～2/4)	7,059	794,404	21.86%	21.71%	4,347	546,257	49.53%	52.00%
令和6年第6週 (2/5～2/11)	6,714	801,118	22.05%	21.87%	4,179	550,436	49.90%	52.30%
令和6年第7週 (2/12～2/18)	4,624	805,742	22.17%	22.00%	2,271	552,707	50.11%	52.54%
令和6年第8週 (2/19～2/25)	3,711	809,453	22.28%	22.10%	2,042	554,749	50.30%	52.73%

### 令和5年秋開始接種の概要

○接種時期 令和5年9月20日から令和6年3月31日まで

○接種対象者 2回以上の接種を完了した者

- ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者（接種の努力義務あり）
- ・上記以外の者であって生後6か月以上のもの（接種の努力義務なし）

○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可

- ・オミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチン（ファイザー社、モデルナ社及び第一三共社） 前回接種から3か月以上経過

以下の変異株に関する項目は、令和5年12月25日（月）分から、1か月ごとに集計しています。  
（本日は、1月29日（月）～2月25日（日）分の集計）

### 8-1 変異株ゲノム解析結果について（政令市除く）

1月中旬～2月上旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

（結果判明日：1月30日（火）、2月6日（火）、2月13日（火）、2月20日（火））

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	20	0	0	0	48	68
	(内BA.2)	(0)	(0)	(13)	(0)	(0)	(29)	(42)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内組換体)	(0)	(0)	(7)	(0)	(0)	(0)	(19)	(26)

## 8-2 本県の変異株の判明状況（2月25日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	10,718	6,109	2,371	2,238
	(前回からの増加数)	(80)	(69)	(3)	(8)
デルタ株 (R3.5.16~)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1~)	判明者数	8,307	4,853	1,723	1,731
	(前回からの増加数)	(80)	(69)	(3)	(8)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,525	747	440	338
	(前回からの増加数)	(49)	(43)	(3)	(3)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	793	466	102	225
	(前回からの増加数)	(31)	(26)	(0)	(5)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

## 8-3 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（2月25日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.2	内、BA.5	内、組換体	BA.2	BA.5	組換体
10月16日(月)～ 10月29日(日)	23	0	0	23	0.0%	0.0%	100.0%
10月30日(月)～ 11月12日(日)	3	0	0	3	0.0%	0.0%	100.0%
11月13日(月)～ 11月26日(日)	10	0	0	10	0.0%	0.0%	100.0%
11月27日(月)～ 12月10日(日)	7	0	0	7	0.0%	0.0%	100.0%
12月11日(月)～ 12月24日(日)	13	3	0	10	23.1%	0.0%	76.9%
12月25日(月)～ 1月28日(日)	75	43	0	32	57.3%	0.0%	42.7%
1月29日(月)～ 2月25日(日)	80	49	0	31	61.3%	0.0%	38.8%

#### 8-4 ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む） （1月29日～2月25日判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	0	0. 0%
BS. 1	0	0. 0%
BA. 4. 6	0	0. 0%
BQ. 1	0	0. 0%
XBB	28	35. 0%
BA. 2. 86	49 *	61. 3%
その他	3	3. 8%
計	80	100. 0%

\*このうち、31株がJN.1系統でした。

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」及び「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株 BA. 2. 86 系統について 第2報」において、「ウイルス学的、疫学的、臨床的知見、国内外での発生状況の監視を継続する必要がある」とされている系統を掲載しています。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。

このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）